

都市公園における官民連携事業化検討に向けた サウンディング型市場調査の結果について

1 調査の趣旨

都市公園における「Park-PFI制度」などの民間活力の導入可能性を検討するため、公園の利便性や魅力の向上につながる提案や意見を聴取

2 調査の概要

対 象 公 園：鳴門ウチノ海総合公園、月見が丘海浜公園、新町川公園

調 査 手 法：サウンディング型市場調査

実 施 期 間：令和 7 年 1 0 月 2 0 日～1 2 月 1 0 日

参加事業者数：7 事業者（5 社、2 グループ）

【事業者からの主な提案内容】

- ・鳴門ウチノ海総合公園、月見が丘海浜公園における、
カフェ、レストランの飲食施設や、グランピング等の宿泊施設の設置
- ・新町川公園における、コンテナ、屋台を活用した飲食施設や、
地域交流のためのコミュニティカフェの設置
- ・管理運営期間は、投資回収の観点から最低でも 1 5 ～ 2 0 年程度が必要
- ・整備管理手法は、「Park-PFI制度」と「指定管理者制度」の併用が必要

【事業者から聴取した課題や要望】

- ・民間事業者のみによる施設整備や独立採算での運営は困難
- ・行政による公園内のインフラ整備が必要
- ・まずはニーズ把握のための実証実験が必要
- ・官民での適切な役割分担の設定が必要
- ・地元企業や各種関連団体との連携・合意形成が必要

3 今後の予定

- ・調査結果の概要を、県ホームページにおいて公表
- ・令和 8 年度は、本調査の対象公園において民間事業者が実証事業を実施
（令和 8 年度当初予算案として計上）